

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日		化学療法委員会承認年月	平成	年	月
登録診療科	乳腺外科	申請医師					
レジメン名	EC(90)(ホスアプレビタント)						
疾患名	乳がん	適応の備考	閉鎖式システム使用				
適応分類	術前・術後補助化学療法						
1コース日数	21	日間	総コース数	4	コース	催吐性リスク	高度
抗がん剤投与量・投与日 エピルビシン90mg/m <sup>2</sup> day1、エンドキサン600mg/m <sup>2</sup> day1							

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)				(day)																					
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射		/																						
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30分	●																				
3	主ルート	ハロノセトロン注ハッグ0.75mg	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30分	●																				
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																				
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	エピルビシン注	90 mg / m <sup>2</sup>	15分	●																				
5	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	エンドキサン注 閉鎖式システム使用	600 mg / m <sup>2</sup>	30分	●																				
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●																				
	中心静脈注射		/																						
7	経口投与	デカドロン錠 分2 朝昼食後	8 mg / body			●																			
8	経口投与	デカドロン錠 分2 朝昼食後	16 mg / body				●	●																	

- 【投与上の注意】
- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
  - ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
  - ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

改訂	年月日	内容
	令和4年3月18日	アロキシ、プロイメンド後発切替